全員協議会会議録

1	開 会	2
2	あいさつ	2
3	議 題	2
(1)	協議事項について	2
①	会議期間、議事日程、議案の取扱いについて.....	2
(2)	報告事項について	3
①	塩谷広域行政組合議会について.....	3
②	行政手続きのオンライン化に向けた環境整備について.....	4
③	出産・子育て応援交付金における経済的支援の実施について.....	4
④	矢板市城の湯温泉センター改修事業事業計画（案）に係るパブリックコメントの実施について	5
⑤	矢板市生活排水処理構想の見直し（案）に係るパブリックコメントの実施について.....	9
4	その他	11
5	閉会	11

日 時	令和4年11月25日(金)	午前10時00分～午前10時22分
場 所	議場	

○ 出席者

【 議員15人 】

- ① 石 塚 政 行
- ② 掛 下 法 示
- ③ 神 谷 靖
- ④ 中 里 理 香
- ⑤ 高 瀬 由 子
- ⑥ 櫻 井 恵 二
- ⑦ 藤 田 欽 哉
- ⑧ 佐 貫 薫
- ⑨ 伊 藤 幹 夫
- ⑩ 関 由紀夫
- ⑪ 小 林 勇 治
- ⑬ 宮 本 妙 子
- ⑭ 石 井 侑 男
- ⑮ 中 村 久 信
- ⑯ 今 井 勝 巳

【 欠席議員 】

なし

【 説明員 】

- ① 市 長 齋 藤 淳一郎
- ② 副市長 横 塚 順 一
- ③ 教育長 村 上 雅 之
- ④ 総合政策部長兼総合政策課長 和 田 理 男
- ⑤ 秘書広報課長 佐 藤 賢 一
- ⑥ 総務部長兼総務課長 高 橋 弘 一
- ⑦ 社会福祉課長 沼 野 晋 一
- ⑧ 商工観光課長 加 藤 清 美
- ⑨ 下水道課長 江 連 康 一

※新型コロナ感染症対策のため、関係する職員のみ
出席

【 議会事務局 】

- ① 事務局長 薄 井 勉
- ② 主査 粕 谷 嘉 彦
- ③ 主査 佐 藤 晶 昭

1 開 会

○議長（今井勝巳） ただいまから、全員協議会を開会いたします。

（10：00）

2 あいさつ

○市長（齋藤淳一郎） おはようございます。

全員協議会の開催に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

今回、第383回定例会議に市当局から提出いたします案件は、補正予算6件、条例の制定1件、条例の全部改正1件、条例の一部改正8件及びその他1件の計17件であります。

報告事項につきましては、所管の部課長から説明しますので、よろしく御協議くださるようお願いを申し上げます、挨拶とさせていただきます。

3 議 題

(1) 協議事項について

① 会議期間、議事日程、議案の取扱いについて

○議長 次に、(1)協議事項について、①について説明を求めます。

○議会運営委員長 会議期間、議事日程の取扱いについて御協議を申し上げます。

第383回定例会議の議会運営については、去る11月17日午前10時から、第2委員会室において議会運営委員会を開催し協議をいたしました。

提出議案の件数、一般質問通告者数及びそれら取扱い等について慎重に協議した結果、この会議期間は本日から12月8日までの14日間と決定をいたしました。

次に議事日程については、お手元の日程表のとおりであります。

次に議案の取扱いについては、所管常任委員会に審査を付託する予定であります。

何とぞ、議員各位の御協賛を賜りますようお願い申し上げまして、報告を終わります。

○議長 説明は終わりました。御質疑等ございませんか。

(なし)

○議長 ないようですので、委員長報告のとおり御協力をお願いいたします。

(2) 報告事項について

① 塩谷広域行政組合議会について

○議長 次に、(2)報告事項について①について私から御報告いたします。

昨日、午後2時からエコパークしおやにおいて、全員協議会の後、第148回塩谷広域行政組合議会臨時会が開催されました。議案等については、議案第1号 令和4年度塩谷広域行政組合一般会計補正予算(第2号)について、議案第2号 塩谷広域行政組合職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について、議案第3号 塩谷広域行政組合議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について、議案第4号 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正についての議案4件であります。

全ての議案が原案のとおり可決されました。

以上報告を終わります。

② 行政手続のオンライン化に向けた環境整備について

○議長 次に、②について説明を求めます。

○総合政策課長（和田理男） おはようございます。

行政手続のオンライン化に向けた環境整備について、御報告いたします。

このほど策定しました矢板市デジタル戦略に基づき、マイナンバーカードを用いたオンラインによる行政手続きの環境整備を行うものです。

資料イメージ図を御覧願います。マイナンバーカードを取得した方が、国において、特に国民の利便性向上が必要とする子育て支援等に関する手続きの申請窓口、マイナポータル利用により、自宅にいながらオンライン申請が可能となるものです。このたびの整備では、オンライン申請の運用に対応するため、この国のマイナポータルと本市の基幹業務情報システムとのオンラインシステムを整備するとともに、本手続きの法的根拠を担保するオンライン行政手続き条例の制定など、必要な例規整備についてもあわせて実施いたします。

令和5年4月からの本格運用開始には、年度内にシステム導入作業を完了させる必要がありますことから、必要となる経費を補正予算案として、本定例会議に追加議案として提出いたしますのでよろしく願いいたします。

○議長 説明は終わりました。御質疑等はありませんか。

(なし)

○議長 ないものと認めます。

③ 出産・子育て応援交付金における経済的支援の実施について

○議長 次に、③について説明を求めます。

○健康福祉部長（沼野晋一） 出産・子育て応援交付金における経済的支援の

実施について御説明いたします。

政府において、物価高克服、経済再生実現のための総合経済対策が閣議決定されました。この中の新しい資本主義の加速の分野におきまして少子化対策、子供・子育て世代への支援として妊娠期から出産子育てまで一貫した伴走型相談支援と、経済的支援を一体として実施する事業が出産・子育て応援交付金として創設されました。

別添資料を御覧ください。この出産・子育て応援交付金は、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備が喫緊の課題であり、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施することとしております。本市におきましても、出産・育児関連用品の購入費助成や、子育て支援サービスの利用負担軽減を図るための経済的支援といたしまして、妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対し各5万円相当、計10万円相当を給付するものでございます。

なお、経済的支援の給付につきましては国の補正予算がまだ決定しておりませんが、いち早く給付を行うため本定例会議において補正予算を追加議案にて提出したいと考えておりますので御審議くださるようよろしくお願い申し上げます。

○議長 説明は終わりました。御質疑等はありませんか。

(なし)

○議長 ないものと認めます。

④ 矢板市城の湯温泉センター改修事業事業計画（案）に係るパブリック

コメントの実施について

○議長 次に、④について、説明を求めます。

○商工観光課長（加藤清美） 矢板市城の湯温泉センター改修事業事業計画（案）に係るパブリックコメントの実施について報告いたします。

城の湯温泉センターにつきましては、令和3年11月の全員協議会において報告しましたとおり、昨年2号源泉ポンプ故障に伴い2号館の入浴施設を休止し、今後のあり方について検討してまいりました。検討の結果、城の湯温泉センターは平成29年度に地方創生拠点整備交付金を活用し、スポーツツーリズムの拠点として改修した経過があることから、2号館の入浴施設を宿泊施設に改修することにより、スポーツツーリズムの拠点としてさらなる充実を図ることといたしました。今回の改修により、城の湯温泉センターを従来の市民の福祉及び健康増進を目的とした施設から、スポーツツーリズムの拠点及び観光施設へと運営方針の大幅な転換を図ることからパブリックコメントを実施いたします。

それでは、城の湯温泉センター改修事業事業計画を御説明いたします。資料画面の5ページをお開きください。計画書の1ページになります。これまで地方創生の一環としてスポーツツーリズムに取り組み、一定の効果上げてまいりましたが、現在、整備中の文化スポーツ複合施設の活用によりスポーツツーリズムによる経済波及効果をさらに高めるため、スポーツ合宿を軸とした滞在型スポーツツーリズムの充実が課題となっております。また、城の湯温泉センターにつきましては長期的な需要予測に基づいた持続可能な施設運営を課題としていることから、これらの課題解決に向け、城の湯温泉センターは既存の温泉施設を一部で継続しつつ宿泊機能を加え新たな顧客を獲得することで、長期にわたり安定した施設運営を行うことといたしました。

次に、資料の 9 ページを御覧ください。城の湯温泉センターの今後の運営方針というページになります。商品コンセプトを「大人の癒しと気づき得られるサービスの提供」といたしました。客層設定につきましては、宿泊施設を主に首都圏からの宿泊者とし、ミドル世代から高齢者のサークルや愛好会によるスポーツ合宿及びスポーツ等をオプションとする企業の社員研修を誘致いたします。また、平日の稼働率と売上の確保を図るためビジネス利用の顧客を副次的に取り組みます。商品コンセプト展開につきましては、ハード面では 2 号館の入浴施設を宿泊施設へと改修し 1 号館においては従来どおり温泉施設として営業いたします。ソフト面では矢板の食や自然、未来技術等が体験できるサービスを提供いたします。次のページを御覧ください。運営方法において、本計画による施設運営の目標値を掲げております。温泉センターの入館者数は、※ 1 に記載のとおり過去の実績及び今後の需要予測をもとに年間 12 万人といたしました。宿泊施設の目標値は※ 2 に記載のとおり官公庁の統計調査による栃木県の客室稼働率を勘案し 6,296 人といたしました。次のページを御覧ください。改修基本計画となっております。2 号館の西側の入浴施設を宿泊施設に改修し、また東側の一部を共用スペース部分として改修いたします。1 ページ飛ばしまして資料 13 ページ。改修基本計画図（案）を御覧ください。宿泊施設利用者の入浴施設は 1 号館を利用することとし客室には設置せず旅館業法の簡易宿所として整備いたします。また、2 号館の西側部分のみを宿泊施設とし 1 号館の入浴施設とは別に玄関、受付のほかシャワー室を設けます。客室は定員 2 人の客室を 14 部屋、同じ面積 2 段ベッドを設置した定員 4 人の客室を 4 部屋、6 人定員の和室 1 部屋を設け収容人数は 50 人となる予定です。以上が計画案の説明となります。

パブリックコメントは、本日から 12 月 26 日までの 1 か月間実施いたしま

す。報告は以上でございます。

○議長 説明は終わりました。御質疑等はありませんか。

○中村議員 1点お尋ねいたします。この事業に係る経費については、どれぐらいを見込んでいるのでしょうかということと、費用対効果等、要は市民の方がパブコメをする場合に、費用対効果等も当然ながら考えるというふうに思いますが、そういった事業費についてはどこかに記載はしてあるのでしょうかということをお尋ねいたします。

○商工観光課長 中村議員の事業費等の記載があるのかという、御質問にお答えいたします。

計画書内には事業費の方の掲載はしておりません。こちらにつきましては、現在、詳細設計中であること、また、来年度の当初予算の編成作業中であるということで記載のほうは設けておりません。今回記載しなかった理由につきましては、従来の福祉と健康増進の施設からスポーツツーリズムを拠点とするということで、そちらについての御意見を伺いたいというところがあります。また、このパブリックコメントを実施することにより、市民の方にその計画案のほうを周知するという目的があることから、今回は事業費を掲載しておりません。

以上です。

○中村議員 今の説明の前に、事業費がどれぐらいかかるのですかっていうことをお聞きしているわけですけど、何もそういったことがない中での計画ということですか。

○商工観光課長 中村議員の事業費の概算があるのかということなのですが、そちらにつきまして現在、詳細設計中なのですが、当初の見込みでは、工事費およそ2億円ということでは見込んでおりますが、具体的な

数字のほうは現在詳細設計中ということでありませう。

以上です。

○中村議員 2億円という最初の構想の段階だと思ひますが、示されているということで、いずれにしてもこういう大きな事業を行うには幾らかかるかという、概略であつてもそういったものは当然ながら、パブコメをするときには市民の皆さんに示されないと、こういったものについての是非、効果といったものが計れないというふうに思ひます。だからそういったことは、概略だとしても示すべきだというふうに思ひますので、これは要望としてお話ししておきます。

以上です。

(「今まで改修でそんなパブコメなんて丁寧になんて・・・」という者あり)

○議長 答弁を求めますか。

○中村議員 答弁を求めるのではなくて、そういう発言があるのだったら議長の許可を得て発言すべきじゃないですかということなんです。

○議長 了解です。他に何か質問ありますか。

(なし)

○議長 ないようですので、次に進みます。

⑤ 矢板市生活排水処理構想の見直し(案)に係るパブリックコメントの実施について

○議長 次に、⑤について説明を求めます。

○下水道課長(江連康一) それでは、矢板市排水処理構想の見直し案に係るパブリックコメントの実施について御報告いたします。

現在の矢板市生活排水処理構想につきましては、平成28年3月に見直し

なされております。今回の見直しにつきましても、栃木県が今年度実施予定の栃木県生活排水処理構想の見直しに伴いまして、県と連携を図り県内市町が一斉に見直しを行うものでございます。本市につきましてはこの見直し案のとおりパブリックコメントを実施するものでございます。

構想案の概要でございます。資料の矢板市生活排水処理構想（案）[概要版]を御覧ください。今回の構想の見直しの考え方といたしましては、第6章と第7章に掲げておりますとおり、第3章の基本方針にある国土交通省、農林水産省、環境省の3省でまとめ上げました、持続的な污水处理システム構築に向けた都道府県構想マニュアルに示されております考え方に基きまして、県が作成しました手順にて見直しを行っているところでございます。これらを踏まえまして判定いたしました結果が第8章でございます。30地区の未整備区域につきましては、検討した結果25地区を浄化槽に接続するのが有利な判定となりました。このことから今回の見直しにおきまして91.6ヘクタールを浄化槽処理区域へと変更するものでございます。なお、本構想にあわせまして来年度令和5年4月より、今までの浄化槽設置補助金に加えまして宅内配管等の補助金につきましても検討することで污水处理の普及促進を図ってまいりたいと考えておるところでございます。

次にパブリックコメントの実施期間でございますが、令和4年11月28日月曜日から、令和4年12月27日火曜日までとなっております。実施方法等につきましては記載のとおりでございます。

説明は以上でございます。

○議長 説明は終わりました。御質疑等はありませんか。

(なし)

○議長 ないものと認めます。

4 その他

○議長 議員各位及び執行部から何かありませんか。

(なし)

5 閉会

○議長 ないものと認めます。

以上で全員協議会を閉会いたします。お疲れさまでした。(10:22)

令和 年 月 日

議長